

ねらい

特別の教科 道徳「たのしい がっこう」と生活科「いちねんせいが はじまるよ」の学習を通して、楽しく安心して学校生活を送ることができるようにする。〈キーワード【安心】【主体性】【楽しみ】〉

ポイントと
幼児期との
つながり

幼児期には、一定の生活習慣を身に付け、生活の見通しをもって安心して過ごしている。また、先生や友達との楽しい遊びや生活の中で、人とつながることの楽しさや、新しい生活への意欲や好奇心をもてるようになっていく。そのような姿を生かし、話し合い活動や学校探検などの活動を通して、友達のことを知ったり、様々な人とのかわりに気付いたりできるようにし、学校は楽しいところであるという期待感が膨らむようにする。

実践内容

①生活科〈安心をつくる時間〉

登校してからの準備や給食準備の流れを可視化⇒安心して活動に参加



登校後の朝の支度の仕方をイラストを活用して提示



お道具箱の中を写真で提示

②道徳科〈たのしい がっこう〉

導 入

展開前段

展開後段

終 末

1年生になって、楽しいことはどんなこと？

教材を見て、にこにこしているわけを話し合う。

これから楽しみなことはありますか？

楽しみなことを伝え合う。



きゅうしよく



ぼくも運動会が楽しみだな。

入学してからの数日間を振り返り、楽しいことを発表することで前向きな気持ちをもたせる。

様々な人とのつながりに気付くことができるように、意図的に声かけをする。

小学校生活が希望溢れるものになるように、昨年度の写真を見せながら進める。

楽しみを伝え合い今後の生活に期待感を高めさせる。

③生活科〈探検を通して、はてな?を共有し、解決する〉

教科書の絵や写真、学校探検や校庭探検から「はてな」を集め、みんなで解決する。また、様々な人との関わりにも気付くことができるようにする。



本を借りるためには誰に話したらいいのかな。

授業を振り返って

児童は友達と楽しみなことを交流したことで、お互いを知るきっかけになり、今後の学校生活に期待を膨らませている様子が見られた。また、探検活動や話し合い活動を通して、児童の疑問やつづやき、思いを大切にすることで、主体的な学習につなげることができた。